



体を温めてるだけではダメなのですね

お陰様で 10 周年を迎えることができました。お叱りを受けたり、励まされたりお客様と一緒に歩かせて頂いた 10 年でした。皆さまに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

今年 6 月に安保徹先生と共に講演をいただいた川嶋朗先生たちとオーストリアの温熱施設見学ツアーに参加した際、医師 4 人の中の一人の先生に「科学も医療も仮説から始まっている、医師は解って治療している訳ではない。だから体験談を積んでいくことが立派なエビデンスになるんだ。陶板浴で凄いことしてるじゃないか」と言われすごく嬉しくなり竹屋陶板浴で 10 年続けてきたことを再認識してしまいました。

私が書くのもなんですが、お客様からの体験談を聞くと、あらためて竹屋陶板浴ですごいことが起きていると感じます。癌交流会(たんぼぼの会)でも毎回そう思います。初めて出会う方々がガンという共通点から自分の生きざまを話すことで、お互い生きる力となり、死を覚悟した人でさえ「私生きられそう」と明日の人生に希望を見いだすことができるのです。健康な方にとっては些細な事かもしれませんが、これってすごい事だと思うのです。このようなことが 10 年近く続いてきているのです。

陶板浴の開設当初は、体を温めることで免疫が上がり温めるだけで健康になれると思っていました。しかしそうではないことも解かりました。人間は睡眠も休養も必要な動物で、そして高度な脳の持ち主です。10 人いれば 10 人の生活スタイルがあり、個性もあります。悩みや働き方などから様々なストレスをも抱え生きています。ここを切り離して体だけ温めても健康にはならないと実感してきました。特にガンなどの病気の方は、自分はなぜ病気になったのかを認識し、病気を受け入れることができるのと病気から解放される生き方ができるようになります。心と体はつながっているのが本当に良く解ります。このような事から竹屋陶板浴ではトータルメンテナンスな角度から自分への気付きがあるように、年 2 回の講演会や毎月の免疫講座メニューなどを開いてきました。体を温めることと同じくらい大切な事と考えています。陶板浴に来て下さった方々がリラックスでき、「竹屋陶板浴に来ることが楽しい、その先に健康がある」と、お客様もスタッフもそう思える場所でありたいと日々運営しています。今後も皆さまと一緒に健康の輪を広げていきたいと思っております。どうぞ応援して下さい宜しくお願い申し上げます。

孫の運動会の競技に一人ずつ縄跳びで走る演目がありました。早く走れる子もいましたが一飛び一飛びしながらトラックを周る園児の姿に胸が熱くなりました。一生懸命自分と向き合いながら努力している姿は誰しもを感動させます。私もこんな生き方をしたいなと気付かせてくれたひと時でした。